

信仰を証しする共同体

カレンガ神父

“兄弟が共に座っている。なんという恵み，何という喜び”

(詩編 133-1)

期間：2015年1月1日(神の母の祝日)～6月7日(聖体の祭日)

ご存知のように、姫路地区では隔年で地区大会が執り行われています。それらを通して教会の命である「イエスの御聖体の祭日」に、文化や言語の違い、性別や年齢の違いを受け入れ、更に無関心、偏見、小教区の枠を乗り越えて、キリスト教の信仰を証しして来たと思います。その時々地区大会において荘厳な典礼と準備に関わったことを懐かしく思い出す方が大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。

福音を告げ知らせるために、教皇フランシスコは、「『いつもこうしてきた』という安易な司牧基準を捨てなければなりません」(福音の喜び 33)と語っています。安心できる習慣に閉じこもるならば、ミスも批判も少なく済みますが、一方でそのような教会は「内向き教会」(2013年地区大会:新生の集いのメッセージ)になりかねません。日々、宣教に取り組んでいる教会は全世界に関心を持たなければなりません。足を運んでもらうだけでなく、足を運んで出向いて行く教会を築けたらと思います。

2013年度の地区大会では「それぞれの場」で「共に歩む」試みをしました。各小教区が企画した独自の催しを地区全体に広げ、参加を呼びかけました。その結果、短い時間ではありましたが、信仰の喜びを、「共に」味わうことができたと思います。その地区大会の開始と締めくくりに、評議員で地区全体をつなぐ集いを持ちました。その過程において、評議員の教会貢献を可能とする養成プログラム、「分かち合いの手がかり」が地区養成チームによって準備されました。来年、2015年の地区大会期間中には、3回(東、西、中)の分かち合いを開催する予定です。

マリアは神の母になるとのお告げを受けて喜び踊り、その喜びのうちにエリサベトを訪問し、共に分かち合いの時間を持ちました。「マリアは、三か月ほどエリサベトのところに滞在してから、自分の家に帰った。」(ルカ 1:38-55)と聖

書に記されています。

今回の地区大会で、私たちはマリアに習い、他の小教区を訪問し、信仰がもたらす喜びを味わいましょう。詩編に書かれている、“兄弟が共に座っている。なんとという恵み、何という喜び”（詩編 133 : 1), を実践しましょう。

2015 年度の地区大会は、一つの教区ではなく、ブロックを超えて、複数の小教区が共同で活動する内容を企画する大会にしたいと思っています。祈りのうちに、時間をかけて、共に準備するプロセスの中で信仰の喜びを味わい、信仰についての分かち合いを行いましょ。

企画の分野をいくつかを紹介します。

「子供たち」「壮年男性」「婦人会」「高齢者」「青年」「様々な問題を抱えている中年男女」「外国人」「私の祈りと助けを必要としている人々」などがあります。司牧者たちの指導のもとに、知恵を出し合い、大胆かつ創造的に、私たちが宣教の最中にあることを示す教会の顔を作りあげましょ。

2015 年 1 月 18 日には地区宣教評議員で、「オープニングセレモニー」を開き、7 月 19 日には、同じメンバーと新メンバーで、「評価と繋ぎ」の集いを開催する予定です。

皆さんの信仰における成長を願いつつ。